

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

朝晩めっきり冷えてきた今日この頃です。

夏の間楽しませてくれた会社の前の花をビオラとマーガレットに植え替えました。

文化の日にNHK朝ドラ『マッサン』の主人公のモデルとなった竹鶴政孝の生まれた竹原の町並み保存地区に行ってきました。ドラマの中で映し出されていたマッサンとエリーの歩いている姿を思い浮かべながら歩いてきました。歴史民族資料館には、マッサンとエリーが二人三脚で歩んだ生きざま(冒険旅行(アドベンチャー))の写真や資料が展示されており、まさに国産初のウイスキーをつくるという夢を叶えた二人の情熱が伝わってきました。



第3日・月には山口県の角島～萩へ行ってきました。萩は来年のNHK大河ドラマ『花燃ゆ』の舞台になります。とても良いタイミングで行くことができました。今はスマホで人物や史跡についての映像や資料などを簡単に見ることができ、多少なりとも事前に勉強して行けるのでとても便利です。松陰が松下村塾をはじめたのは、27才の時でした。時あたかも日本は黒船来航で国中が騒然としていた中で、彼は若者に『志を立てて命懸けで立ち上がれ』と呼びかけ、自らもその先頭に立って改革に身を投じました。吉田松陰、高杉晋作、久坂玄瑞の誕生地を訪れた時には、幕末当時の情熱が伝わってくるようでした。松陰29才、高杉27才、久坂25才という若さでこの世を去ります。幕末黒船来航、迫る西洋列強からの恐怖から混乱を極める日本を救おうと立ち上がった



彼らは、変革への志を貫き、命懸けで維新への扉を開いていったのです。20代の若者たちが260年続いた徳川幕府を倒すきっかけをつくり、新しい時代をつくる原動力となったのですから凄いことですね。白壁の家が続く街並みは今も城下町の面影を残していて、ただの『町おこし』だけの観光地とは違ってしっとりとした雰囲気のある街並みでした。



マッサン(竹鶴政孝)も吉田松陰も若くして高い志を持ち、命を懸けて仕事に打ち込んだ人です。実態のない経済で、お金を右から左へ動かすだけで富を得ようとマネーゲームに明け暮れている現代人、何か大きく間違っていると思います。お金とは本来、良い物を創ったり、良いサービスを提供した時に生まれるものであり、人々が汗を流し作り上げたものに価値があるのだと思います。

萩から帰ってきたその夜の『鶴瓶の家族に乾杯』は、熊本県の南阿蘇村に訪れた指揮者の佐渡裕さんの後編でした。その中で薪ストーブのお店(松本さん)を訪れた時の話がとても参考になったので紹介させていただきます。

佐渡 『いつごろからストーブが好きになって、ストーブを仕事にしようと思ったのですか?』

松本 『前はドイツ車の修理の仕事をやっていて、ドイツに研修とか行って、そこで薪ストーブがあることを知って、これは面白いと思って自分の家でも始めた。』

佐渡 『なかなかチャレンジですよ。』

松本 『そうですね。うちの父も商売をやっているんですけど『そんなもんで食えるのか』と言われました』

佐渡 『何か自信があったんですか?これはやれると。だってお金もかかるし。』

※裏面に続く

松本 『もう楽しいので、それだけです。それを一生懸命やったら食べれるようになっていた。』

ここからはスタジオでの後日談です。

小野ア 『地元でも評判でした。松本さんは薪ストーブについて語らせると止まらない。』

佐渡 『1時間位、じわじわじわじわとずっとストーブの話を大事に大事にしゃべり続けられる。僕、買もしないのにね。本当に好きなんだと思いました。ストーブのことが。』

松本 『私としては、ちょっと3時間くらいまだ説明がある所の一部しか聞いて頂いてないので不完全燃焼気味ですけど』

スタッフ 『薪ストーブは好きですか？』
(松本さんの長女に質問)

長女 『昔は薪ストーブとか全然興味なかったけど、お父さんがやってるから面白いのかなーみたいに思って、お父さんのことはすごく尊敬しています。』

スタッフ 『今後の目標は？』

松本 『売り上げは世界一にはなれませんが、薪ストーブマニアなので、マニア世界一を目指したいです。』

奥さん 『なれると思います』

佐渡 『この地域ってね。ものすごい魅力的な場所で、地元の人でも凄くその場所を愛しているし、本当にその場所を愛した人が店をやったり、ペンションをやったりしてつくられている。何とも変な話、幸福感が漂う場所だと思いました。』



実態のないマネーゲームの社会より、松本さんの生き方は幸せだと思います。

私も、松陰やマッサン、松本さんのような仕事をして行きたいと思います。

●動く人は信頼されます。

あるサロン様の訪問時に、注文を頂いた商品の入った重い段ボールが2つあったので、お店の扉の前に一度置いて一つずつ持って入ろうとしたところ、お店の前を掃除していたスタッフの方が残っていたもう一つの段ボールをさっと持って運んでくれました。また、そのスタッフさんは、私がスチーマーの部品を交換していた時に、少し水で床を濡らしてしまったのですが、それを見て、すぐに拭いてくれました。凄く嬉しくて、優しさを感じました。信頼関係やコミュニケーションが育まれるのは、特別なことではなく、ちょっとしたことの積み重ねが大切だと感じました。こんなスタッフさんが言うことだったらお客様は何でも受け入れてくれると思います。

二ヶ月に一回、福山で古典や歴史、時事問題などを通じて人間力を高める勉強会の講師をして頂いている亀山先生は、いつも周りの人に自分から声をかけられますし、居酒屋での懇親会の時も相手がメニューを見やすいようにさっと向けられます。講師であり、年上の先生であるにもかかわらず自分からすぐに動かれることだけで尊敬できます。知行合一の人です。

23日はカープファン感謝デーに行ってきます。一年間応援してきた選手達に会えるのが楽しみです。

寒くなりますが、風邪などひかれぬよう、お身体に気を付けてお過ごし下さい。

【今月のオススメ本】



「本気」で動ける人は、未来を創造できる。国内外から熱狂的に支持されている医師が贈る、魂を揺さぶる44のエール!

吉岡 秀人著
『救う力』

この本をお求めになりたい方はお申し付け下さい。商品と一緒にお届けさせていただきます。
※お届けまでに少し時間がかかることがあります。ご了承下さいませ。